

観光教育実践事例

持続可能な観光

～ Nisekoから学ぶ観光教育 ～

札幌国際大学観光学部／編

刊行に寄せて

札幌国際大学観光学部長 教授 横田久貴

2024 年初頭、我が国は新型コロナウイルスの影響から徐々に回復に向かっているようです。思い起こせば、2020 年 2 月客船ダイヤモンド・プリンセス号の船内で感染が複数確認され、横浜港に入港したものの下船が許されず 7 人が死亡する事故がありました。当時、その様子は連日報道され、クルーズ船などの「閉ざされた空間での感染」の危険性が国民に強く意識された出来事でもありました。

新型コロナウイルスの脅威は「自粛生活」という社会全体に大きな影響を与えましたが、とりわけ観光業への影響は甚大であり、多くの観光関連企業が苦境に陥りました。また、サービス業界の低賃金・変則労働、早期離職問題はコロナ以前から指摘されていましたが、観光業界における「待遇改善」と「人材不足」を克服するためには依然として解決すべき問題が山積しており、特に「どうすれば人材を確保できるのか」という命題は喫緊の課題といえます。

また、ポストコロナとなった今日、「必ずしもコロナ以前の状態に戻る」と求められていないものもみられます。例えば、スポーツコミッションなど地域資源を活かした観光の「組織化」や「稼ぐ力」の醸成、環境に配慮した観光の在り方など、コロナ前と比較し、姿かたちを変えたものや、新たに登場した課題への対応も求められています。

このような中、令和 5 年札幌国際大学観光学部では、観光の今日的課題の中から「持続可能な観光」についてとりあげ、ニセコ町長の講演を皮切りに、「食」や「地元高校生との意見交換」、「SDGs ロゲイン」などニセコをフィールドにした教育実践をおこないました。本著はこの実践報告をまとめたものです。

さて、ここで本著のタイトルでもある「持続可能な観光」の定義についておさえておきます。今日、SDGs などの持続的発展の考え方や行動様式を支持し

ないという人はほとんどいない時代となりましたが、この持続的発展の定義については多くの意見があることも事実です。例えば、環境と発展に関する世界委員会（WCDE1987）では、持続的な発展の定義を「未来世代のニーズを満たす能力を損なわないよう、現代のニーズを満たすこと」としています。

また、持続可能な観光については、「無期限にその地域で実行の可能性を維持できる形の観光」（Butler;1993）や、「持続的発展に向けて広く統合された道筋において社会システムと行動の変化を求める規範的な志向」（Bremwell;2017）などの定義がありますが、本著では主に観光地理学の権威である Butler の考えを参考にした教育実践を行いました。

以上のことから、本著は持続的な観光を「無期限に地域で実行を維持できる形の観光」としてとらえ、国連世界観光機構から「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」（UNWTO 2021）を受賞し、世界に誇る雄大な自然を持続可能な観光資源としてとらえ、その取り組みが高く評価されているニセコ地域を主たるフィールドに、大学教育の実践をまとめたものです。

札幌国際大学観光学部は、学部設立以来 25 年の教育を通じて高度な観光人材の育成を担ってきました。今後も、我が国における観光人材育成に重要な役割を担っているとの責任を強く自覚するとともに、これからも「実践的な観光人材の育成」という教育の基本的な考え方のもと、「主体的で対話的な深い学び」（アクティブ・ラーニング）などの新しい教育を取り入れつつ、学生の資質能力の育成に努めてゆきます。

なお、本事業は令和 5 年札幌国際大学奨励教育として本教育を展開しました。ご協力、ご支援いただきましたニセコ町長はじめ、関係各位に深く感謝申し上げます。

関係者・執筆者紹介

[令和5年観光フォーラム講演・パネリスト、実行委員]

片山 健也（ニセコ町長）

岩井 貴之（株式会社JTB北海道事業部営業第四課長）

池見 真由（札幌国際大学観光学部）

吉沢 直（札幌国際大学スポーツ人間学部）

渡井 瞳（札幌国際大学縄文世界遺産研究室）

有澤 恒夫（札幌国際大学大学院観光学研究科長）

池見 真由（札幌国際大学観光学部）

齊藤 修（札幌国際大学観光学部）

[企画型募集旅行作成指導]

川瀬 一弥（株式会社阪急交通社札幌支店）

[ニセコ観光フィールドワーク]

中野 文彦（株式会社ニセコリゾート観光協会）

北海道ニセコ高等学校

札幌国際大学3年（石田 幹、小松 歩、橋本 優理）

[執筆者（執筆順）]

横田 久貴（札幌国際大学観光学部）

有澤 恒夫（札幌国際大学観光学部）

池見 真由（札幌国際大学観光学部）

齊藤 巧弥（札幌国際大学観光学部）

細野 弥恵（札幌国際大学観光学部）

田村こずえ（札幌国際大学観光学部）

黄 旭暉（札幌国際大学観光学部）

目 次

I	事業の全体計画	… 1
	横田久貴（札幌国際大学観光学部）	
II	観光フォーラム 2023 報告	… 5
	有澤恒夫・池見真由（札幌国際大学観光学部）	
III	阪急交通社監修 企画型募集旅行パンフレット作成	… 16
	横田久貴（札幌国際大学観光学部）	
IV	現地フィールドワーク実践報告	
1	実施計画の概要	… 18
	横田久貴（札幌国際大学観光学部）	
2	「食と観光」	… 20
	斉藤巧弥（札幌国際大学観光学部）	
3	「高校生による地域観光ガイド」	… 21
	細野弥恵・田村こずえ（札幌国際大学観光学部）	
4	「SDGs ロゲイン」	… 26
	黄 旭暉（札幌国際大学観光学部）	
V	あとがき	… 29
資料	企画型募集旅行パンフレット作品集	… 30

札幌国際大学観光学部編
Sapporo International University Faculty of Tourism

持続可能な観光

2024年3月1日 第一版第一刷発行

編者 札幌国際大学観光学部

編集責任者 札幌国際大学観光学部 横田久貴

発行者 宮原健太郎

発行所 一粒書房

〒475-0837 愛知県半田市有楽町7丁目148番1号

TEL 0569-21-2130

FAX 0569-22-3744

<https://www.syobou.com>

mail:book@ichiryusha.com

印刷・製本 有限会社一粒社

本書の全部または一部の無断複写・転載を禁じます

落丁・乱丁はお取替えいたします

ISBN978-4-86743-248-8 C0065

Sapporo International University Faculty of Tourism Printed in Japan